

～ ここにも活かせるエルメス技術 ～

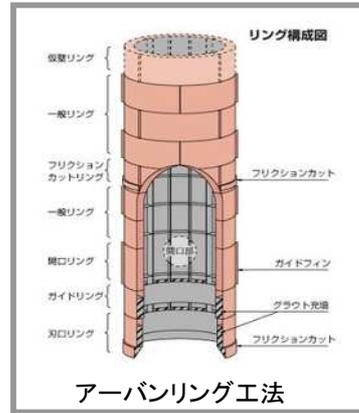


アーバンリング工法における従来型計測管理と新しい計測管理方法

山岳トンネル／地下構造	シールドトンネル	地盤／山留め	○ 基礎／ケーソン
近接施工	斜面防災	コンクリート構造	ダム・メンテナンス
鉄道関連	道路関連	橋梁関連	エネルギー関連

◆ 概要

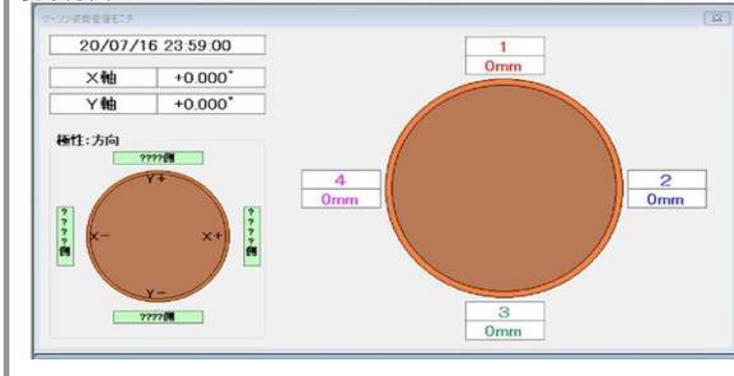
アーバンリング工法は、鋼製セグメントのアーバンリング（分割組立型土留め壁）を用い、狭隘な場所にも適応する都市型圧入ケーソン工法です。同工法は、ケーソンの部類に入るため、計測管理方法は従来型の姿勢制御と同じ管理方法になります。良くある問題は、姿勢制御計測で求めた計測値と水準測量の値が一致しないことです。特にアーバンリングでは、その差異は顕著です。そのため従来の姿勢制御の計測のみに頼らず、新しい計測管理を導入して総合的に考えるべきです。



◆ 計測管理方法

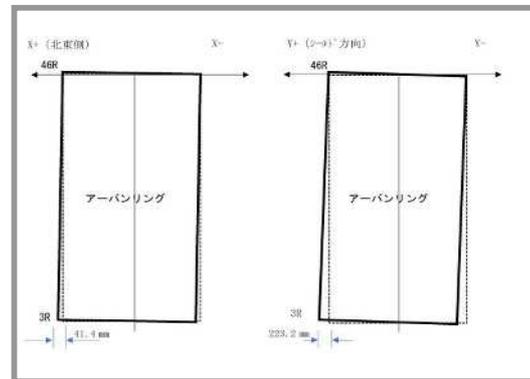
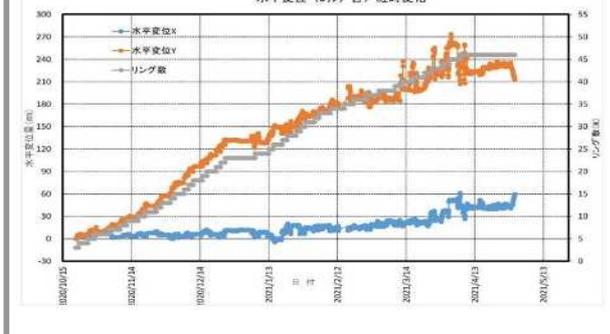
姿勢制御の計測は、任意の位置に固定式傾斜計2台（X軸、Y軸）を設置し、その角度から任意の位置の変位量を求めるものであります。この方法は、通常のケーソンで良く行われる従来方法で、平面での管理になります。

従来方法



新しい計測管理は、アーバンリング全体のXとYの水平変位を算出して、どの方向にあるか把握するものです。

新しい方法



お問い合わせ



東横エルメス 計測技術部
東横エルメス 営業部

TEL (03) 5829-6088
TEL (03) 5829-6088